

みずほCustomer Desk Report 2020/04/09 号(As of 2020/04/08)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	108.65
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	108.68	1.0893	118.38	1.2334	0.6154
SYD-NY High	109.10	1.0901	118.69	1.2341	0.6246
SYD-NY Low	108.51	1.0830	117.93	1.2289	0.6116
NY 5:00 PM	108.84	1.0855	118.14	1.2376	0.6232
NY DOW	23,433.57	779.71	日本2年債	-0.130	0.00bp
NASDAQ	8,090.90	203.64	日本10年債	0.010	2.00bp
S&P	2,749.98	90.57	米国2年債	0.2540	▲1.20bp
日経平均	19,353.24	403.06	米国5年債	0.4698	0.24bp
TOPIX	1,425.47	22.26	米国10年債	0.7699	4.51bp
シカゴ日経先物	19,300.00	180.00	独10年債	-0.3110	0.05bp
ロンドンFT	5,677.73	▲26.72	英10年債	0.3790	▲3.20bp
DAX	10,332.89	▲23.81	豪10年債	0.9525	11.95bp
ハンセン指数	23,970.37	▲282.92	USDJPY 1M Vol	9.15	▲0.21%
上海総合	2,815.37	▲5.39	USDJPY 3M Vol	8.88	▲0.16%
NY金	1,684.30	0.60	USDJPY 6M Vol	8.73	0.00%
WTI	25.09	1.46	USDJPY 1M 25RR	-3.43	Yen Call Over
CRB指数	129.19	1.24	EURJPY 3M Vol	10.30	▲0.05%
ドルインデックス	100.12	0.22	EURJPY 6M Vol	10.10	0.08%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月8日	8:50	日 貿易収支	2月 ¥1,366.6b	¥1,215.0b
	22:45	米 ブルームバーグ消費者信頼感	4月 49.9	56.3
4月9日	3:00	米 FOMC議事要旨「景気見通しへの下振れリスクは急拡大」「金融政策での強力な対応が求められる」		

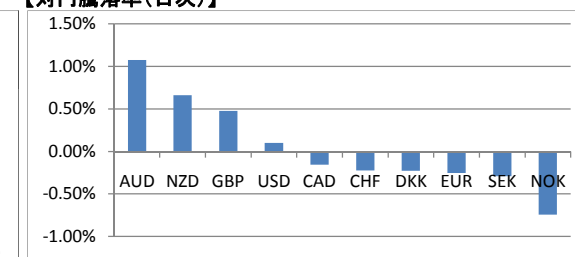
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月9日	15:00	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	2月 0.1%/-3.0%	-0.1%/-2.9%
	15:00	英 製造業生産(前月比/前年比)	2月 0.1%/-4.0%	0.2%/-3.6%
	21:30	米 PPI最終需要(前月比/前年比)	-0.4%/0.5%	-0.6%/1.3%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 5,500k	6,648k
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド指数(速報)	4月 75.0	89.1
	23:00	米 パウエルFRB議長講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケットインプレッション】コロナショックの影で起きるもうひとつの事象

今月1日に舞い込んだ米シェールオイル生産大手企業ホワイティング・ペトロリアム経営破綻の報道。不吉な連鎖の序章という言葉が頭をよぎった。私の理解では3月の市場のパニックを引き起こした犯人は1.欧米へのコロナウィルス感染拡大に伴う世界景気減速懸念 2.原油価格暴落の2つだ。どちらかといえば、後者こそが、マーケットをあそこまでの混乱に陥れた主犯と考えている。足元、前者に対する対策は、各国政府・中銀が一旦は早急に講じた形だ。一方、後者への対策は講じられていないに等しい。結果的に、エネルギー関連企業が1割強を占めるハイイールド債のクレジットスプレッドはピークの11%台からは縮小したとはいえ、依然2009年以来となる9%近辺で高止まり。サウジ・ロシア両国の原油増産による供給過多とコロナショックに伴う需要減退の二重苦を抱えた原油価格がシェールオイルの高い採算ラインを確保できるわけもなく、更にFRBが踏み切る社債購入対象も投資適格社債のみという状況で、HY債スプレッドの縮小は想定し難い。冒頭に記した通り、今回の経営破綻は序章であり、調達コストが高止まりするエネルギー関連企業のデフォルトは今後一段と増加することだろう。これが喚起するシナリオは、エネルギー関連企業に対する与信が大きな米地銀等金融機関の経営悪化、HY債に投資するHF等投資家の資金繰り悪化、何より原油価格急落に伴うオイルマネーの現金化一つまり、負の連鎖による金融市場の信用収縮を深刻化だ。米国では超党派議員団が提出した石油戦略備蓄拡大のための法案を提出するなど、トランプ大統領も重要な支持基盤であるエネルギー産業を守るべく必死のようだが、斯かる状況下、本日午後11時からOPECプラスの緊急テレビ会合が実施される。更に、サウジが10日にG20エネルギー相会合を実施すべく呼びかけている。注目はロシア・サウジ・米国が減産協議で合意に至るか、減産する需要を打ち消せる規模の減産にこぎつけられるかどうかだ。明るい希望の光が見えるのは当面先だろうが、それにありつくためにはコロナ治療薬・ワクチン開発だけでなく、原油価格底入れが不可欠と考えている。そして、それまでは緩急はあれどCash is Kingの状況に変わりはなく、ドルは底堅く推移すると予想する。(たさかまりえ)

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ブル
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷崎
ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア

ブル	ベア
7	13

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。